

## ご報告

清和政策研究会の政治資金に関する件で、国民の皆様の政治に対する信頼を失墜させる事態を招いたことに対し、所属議員の一人として心から深くお詫び申し上げます。加えて、私の政治団体（自由民主党三重県第四選挙区支部）におきまして、令和4年の清和政策研究会からの還付金（280万円）について、この度清和政策研究会から令和4年収支報告書の訂正が必要である旨の説明がありましたので、本日（1月31日）、清和政策研究会の収支報告書訂正のタイミングとあわせて、令和4年分の収支報告書の訂正を行ったことをご報告申し上げます。なお、当該還付金については、担当秘書において、1円も支出することなく手つかずの状態で全額保管してありました。

清和政策研究会に入会して初めてのパーティーであり、還付金のような仕組みについては事前に一切知ることなく、かつ清和研事務局の指示に基づく事務処理であったとはいえ、結果として、このように収支報告書を訂正するに至り、誠に申し訳なく、心からお詫び申し上げます。

先日（1月19日）、清和政策研究会の塩谷座長から記者会見において、「長年にわたり、（清和研事務局の）事務的なミスリードにより、所属議員事務所に誤った処理をさせた」と言及がありました。担当秘書によれば、清和研事務局から還付金を受領した令和4年当時、収支報告書に記載しない旨の指示が清和研事務局からあったとのこと。今回の事態に関する報道等を受け、昨年確認しましたところ、収支報告書への記載を申し入れたものの最終的には清和研事務局の意向に抗えず、当該還付金が収支報告書に記載されないままとなっていることがわかりました。

清和研事務局において長年にわたり続けられた悪弊を断ち切ることができず、それに基づく清和研事務局からの指示による事務処理を行ったものであるとはいえ、結果として、収支報告書を訂正することになってしまったことについて、深く反省し、国民の皆様、特に地元でご支援いただいている皆様に対し、改めて深くお詫び申し上げます。保管していた還付金については、本来清和研事務局において適切に処理されるべきものでありますので、直ちに派閥に全額返還する予定です。

今後は、今回の深い反省に加えて、新人議員として感じた強い違和感も踏まえ、古い悪習を断ち切って政治への信頼を回復させるため、政治資金の徹底した透明性確保に資する改革など、身を粉にして全力で取り組むとともに、私はじめ事務所におきまして、二度とこのような事態が生じないように、法令順守の徹底はもちろんのこと、政治資金の取扱いについて専門家の指導も受けながら、今まで以上に厳正に対応してまいります。

併せて、先日報道のありました共産党南部地区委員会から刑事告発を受けた件について改めて申し上げます。本件に関する送致の事実は承知しておりません。

先日報道された際にコメントを出させていただきましたし、昨年来国会答弁や記者の方からの取材等で繰り返し説明してまいりましたが、当該寄附は、当時設立されたばかりの自由民主党三重県第四選挙区支部の政治活動に係る寄附であり、法令に抵触するものではないと認識している旨機会あるごとに説明してまいりました。指摘を受けた企業が国からの公共事業を受けていたか否かについても全く知りませんでした。なお、当該寄附に関しては、道義的な観点から、各社へ全額返金しました。

書類送検は、事件の告発を受理した警察が、検察官に対して事件に関する書類や証拠物を送付する手続であり、捜査の結果を問わず行われる手続です。当該告発の内容が正当であったか否かの判断を示すものでもありませんし、実際に犯罪の嫌疑があったことを示すものでもありません。いずれにしましても、速やかな捜査終結を期待し、引き続き捜査に協力してまいります。

なお、上記の件については、捜査等に関する一定の区切りを迎えた段階で、改めて記者会見等を行い、ご説明させていただく場を設けたいと考えております。

令和6年1月31日  
衆議院議員 鈴木英敬